

## 1.概要

### (1)システム名

物流管理システム導入業務

### (2)目的

物流管理システムは、診療材料・医薬品・消耗品等の調達、供給、搬送及び在庫管理等のためのシステムであり、業務の効率化及び合理化、物品購入経費等の削減、余剰在庫の軽減等を行うものである。

### (3)業務履行期間

平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日

### (4)管理物品

- ① 診療材料(汎用品、持ち込み品、カテーテル等を含む)
- ② 検査用材料
- ③ 医療消耗品
- ④ 医療用ガス
- ⑤ 日用品・事務用品(別途協議)
- ⑥ 医薬品 ※機能を有していれば、今後の拡張性を踏まえて提案すること(必須ではない)

## 2. 情報セキュリティ

- (1)障害が発生した場合、迅速なデータ復旧を可能とするため、データバックアップ時のディスクイメージまでのデータ復元を可能とすること
- (2)提案するシステムにおいては、データの変更、削除等の処理者、処理内容等の履歴情報を保持し、随時参照を可能とすること
- (3)1週間分の世代バックアップを外部媒体に自動的にバックアップでき、復旧が可能である  
ユーザIDとパスワードによりメニューの限定と機能の制限を有する
- (4)システム管理者権限をもったユーザのみが、アクセス権限の設定変更を可能とする

## 3. ハードウェア要件

- (1)材料室用クライアント(サーバー兼用可) 1台
- (2)総務担当者用クライアント 2台  
※メーカー・型番の指定が無い場合は NEC 製 Mate(企業・自治体・官公庁向け)とする  
既存電子カルテクライアントと共用(相乗り)可能な場合も様式 11. 内訳明細書にクライアント機の金額とその旨を記載すること
- (3)ラベルプリンタ 2台
- (4)ハンディターミナル 1台
- (5)バーコードリーダー 1台

#### 4. システム導入準備

システム導入準備については契約日から履行期間開始までの期間、受託者の責任において実施するものとし、留意事項は次の通りとする。

- (1) 導入準備計画(スケジュール)を提出すること
- (2) 導入前に病院在庫の調整を行うこと
- (3) 病院職員に対する事前説明会や協議を十分に行い、必要な説明及び指導を行うこと
- (4) 関連するマニュアルを作成し、変更があった場合は速やかに対応すること

#### 5. システム機能全般

- ① 日付は和暦、西暦でも入力ができ、カレンダー表示から日付の選択入力ができる
- ② 診療材料、事務用品、消耗品の在庫管理、購入管理等の業務ができる
- ③ バーコードリーダー入力、バーコードカード入力への対応が可能である
- ④ 償還品、非償還品に関わらずバーコードシール発行及び読み込みができシール運用が可能である
- ⑤ 診療材料はJAN、有効期限、ロットの情報をGS1-128形式のバーコード入力により読み込むことが出来る
- ⑥ 電子カルテシステム、オーダーリングシステム、医事システム等との接続など拡張性を有している
- ⑦ パソコンへ統計データの容易な抽出と統計データの加工および統計表の作成が可能である  
(Excel出力可能なこと) またAccess等で活用が図れるようにCSV出力機能がある

#### 6. 発注業務

- ① 1日に複数回の発注入力が行え1回の入力画面での発注品目件数は制限がない
- ② 直納品については、納入部門の指定が行える
- ③ 発注点切れにより自動生成された発注予定データの修正及び追加が行える
- ④ 発注書の修正、再発行が行える
- ⑤ 発注書修正時には、発注書番号または発注日付と発注Noを指定することにより発注書の内容を表示し修正することが可能である
- ⑥ 発注書は業者毎に印刷し、またそれぞれに注文番号の自動採番が可能である
- ⑦ 発注書は画面での参照・確認(プレビュー)が可能である
- ⑧ 過去の払い出し実績および使用実績を元に、発注データを作成可能である
- ⑨ 直納品部署については仮発注機能を有し、発注担当者が仮発注データに対して追加・削除等が行える
- ⑩ 発注品目ごとに全角で70文字以上の備考入力が可能である
- ⑪ 発注一覧表の印刷が発注元、発注日指定、発注回数、発注No、業者等の条件指定で出力可能である
- ⑫ 発注金額一覧、未納通知書等の印刷が可能である
- ⑬ 商品の検索機能でバーコードリーダーの読み込みによる検索が可能である
- ⑭ 発注書には全体コメント(備考)及びバーコードが印字できる
- ⑮ 発注書はモデムを介して複数の発注先FAXに発注書が自動送信できる

## 7. 入庫（入荷・返品・値引）業務

- ① 発注データをもとに発注番号及び業者単位での入荷（納品）処理が行える
- ② 入荷画面のトップに未納分の業者一覧を表示すること、また選択することにより入荷入力が可能である
- ③ 業者を選択することにより未納分の一覧が表示され入荷入力が可能である
- ④ 使用期限管理対象品入荷入力は使用期限の入力が必須で西暦又は和暦での入力が可能である
- ⑤ 分納入力が可能である
- ⑥ 入荷入力は納品書No. が必須である
- ⑦ 入荷入力後に単価・金額が登録価格と違う場合は確認メッセージを表示できる
- ⑧ 入荷一覧、未入荷一覧、日計表の帳票が条件指定にて印刷できる
- ⑨ 返品の場合は納品書No. 指定にて処理ができる
- ⑩ 値引処理は品目単位、納品書単位、一括値引き処理が可能である
- ⑪ 発注を行わない品目についても、入荷（納品）処理が行える
- ⑫ 登録した納品データの修正・削除が行える
- ⑬ 購入金額順位表を作成できる
- ⑭ 購入データをもとに購入金額の順位表が出力可能である
- ⑮ 帳表出力時、納品年月の範囲指定、出力順、上位品目の指定が可能である
- ⑯ 出力順は、業者順、分類別業者順、メーカー順、分類別メーカー順、品目順分類別品目コード順の指定が可能である
- ⑰ 順位、購入金額、定価金額、購入差益の出力が可能である

## 8. 払出業務

- ① 各部署からの請求伝票をもとに、出庫データの入力が部門別に行える  
出庫データの入力時に、品目の現在庫数参照ができ品目名称、規格、単位の表示が可能である  
またコメント入力ができる
- ② 請求データに対し一括で倉庫在庫の引当てが行え、払出データの自動作成が可能である
- ③ 未払の品目が発生した場合は、在庫不足分の発注予定データの自動生成が可能である
- ④ 請求日、回数、部署、倉庫在庫数の表示が可能であり請求部署毎に絞り込みができる
- ⑤ 請求に対する払出時に発注点切れが生じた場合は、発注予定データを自動作成する
- ⑥ 払出指示表を作成できる。
- ⑦ 出庫データをもとに、払出作業の際に使用する帳表の出力が行える。帳表出力時、払出先の指定が可能である。払出先、請求期間、ロケーション、物品ID、名称、規格、入数、払出数、現在庫数の印刷が可能である。
- ⑧ 使用期限を設定した物品は使用期限入力が必須である
- ⑨ 請求データは、部署別ごとに追加・修正・削除が行える。その際、現在庫数の参照機能がある。

## 9. ラベル運用機能

- ① 償還品と非償還品に分けた物品ラベルの発行が行える
- ② 各科から回収したラベルをバーコードリーダーにて読み取りを行い、各科補充リスト及び払い出しデー

タの生成が行える

- ③ ラベル発行タイミングを各科補充リスト及び払い出しデータの生成時または注文書発行時で変更できる
- ④ 物品を検索し、ラベル発行ができる
- ⑤ 物品一覧画面から、選択した物品のラベル発行ができる

#### 10. 定数管理業務

- ① 定数カート、物品棚などによる部署毎の物品定数配置管理が行える。  
各部署の定数は登録・修正ができ1部署で複数の定数設定が可能、また部署毎のロケーション管理もできる。
- ② 定数カート、部署毎の定数配置表が棚 No. 指定でも出力できる。
- ③ ハンディターミナルを利用して定数カート、各部署の物品入力は残数または補充数を入力するかの選択ができる
- ④ ハンディターミナルを利用した定数カート、各部署の物品入力は登録した棚順に表示される
- ⑤ 部署毎の物品の使用期限管理が可能である
- ⑥ 部署毎または全体での在庫チェック表、補充チェック表、未補充一覧、払出指示表の帳票出力ができる

#### 11. 在庫管理・棚卸し業務

- ① ロケーション、棚、分類、仕入業者等を指定した棚卸記入表の作成できる
- ② ハンディターミナルを利用した棚卸し業務が行える
- ③ 棚卸前に棚卸記入用のワークシートが分類コード、棚番号順に出力可能である
- ④ 品目名、規格、論理在庫数、実在庫記入欄の出力が可能である
- ⑤ 棚卸記入表に基づいて棚卸数の入力ができる
- ⑥ 品目名、規格、理論在庫数の表示と実在庫数の入力が可能である
- ⑦ 理論在庫と実在庫の差、棚卸差異表を出力ができる
- ⑧ 在庫照会が行える
- ⑨ 現在在庫数一覧表が作成できる
- ⑩ 在庫変動履歴が見ることができ、出力できる
- ⑪ 不動在庫リストが不動日数指定にて画面及びExcel帳票として出力できる
- ⑫ 有効期限品目の一覧表が期日指定にて画面及びExcel帳票として出力できる
- ⑬ 分類、棚区分の指定が行える

#### 12. ハンディターミナル機能

- ① クレードルを介したクライアントとの通信時間は10秒程度であり、通信により常に最新情報のデータ更新が可能である
- ② 発注処理・棚卸処理・入荷処理・カート定数管理をハンディターミナルにて処理ができる
- ③ 貼付されているバーコードをスキャンするとスキャンした物品名称が表示される
- ④ 診療材料については貼付の JAN、GS 1-1 2 8 バーコード読み取りに対応している
- ⑤ 棚卸し等の際に物品を2重入力しない仕組みがある

### 13. 統計管理業務

- ① 期間、業者、分類、物品、部署等の条件指定にてデータを絞り込むことが可能である
- ② 主な統計表
  - ・業者別入荷金額合計一覧
  - ・業者別入荷金額推移表
  - ・勘定科目別入荷金額合計一覧
  - ・年間物品入荷払出推移表
  - ・部署別年間払出金額一覧
  - ・物品別部署払出一覧
  - ・月間定数棚卸払出一覧表
  - ・物品分類別払出金額一覧
  - ・在庫／棚卸金額一覧
  - ・物品分類別棚卸金額一覧
  - ・年間棚卸推移表
  - ・部署別年間棚卸金額一覧
  - ・発注一覧
  - ・入荷一覧
  - ・請求一覧
  - ・消費一覧
  - ・経理システムとの連携用 CSV データ(指定フォーマットあり)：業者別勘定科目別入荷金額合計
- ③ 統計表は Excel、CSV 形式で出力可能なこと

### 14. マスタ管理業務

- ① 診療材料は MED I S マスタ等の外部の標準マスタを参照し必要項目を自動設定できる  
商品名、規格・型番、メーカー名、JANコード、償還価格、診療材料クラス分類、  
レセプト電算処理用システムコード、会計コード(勘定科目)
- ② 品目コードは自動採番または任意のコードが発行できる
- ③ 一物品の仕入業者登録数は、最大 10 業者までの登録が可能である
- ④ 物品分類は大分類、中分類、小分類、細分類の登録が可能である
- ⑤ 償還価格は旧価格を持てる 2 世代管理である
- ⑥ ロケーション登録が段階に応じて登録可能である
- ⑦ 各種帳票に印鑑欄(枠)の設定が最大 6 個まで可能である
- ⑧ 業者に応じて消費税の計算設定ができる
- ⑨ 消費税率変更に対応できる

#### 15. 物品マスタ・データコンバート

- ① 既存の物品管理システムHOSNETから物品マスタ、部署マスタ、業者マスタ、在庫、会計コード(勘定科目)などのデータ移行が行えること
- ② 既存システム(HOSNET)10桁の商品コードの移行が可能であること（頭文字は半角英数字登録も可能であること）

#### 16. その他

- ・その他、本仕様書に定めのない事項については、委託者と受託者が協議のうえ定めること。
- ・上記病院仕様を標準機能で対応出来ないもの(別途費用がかかるもの)については、見積り書に記載すること。金額提示が出来ない場合もその旨記載すること